

ネットワークコミュニケーション

第3回：コミュニケーション研究の歴史

2006年秋学期

担当：加藤文俊

101606

コミュニケーションについて考える。

2 | 27

- コミュニケーションという概念は、どのようにとらえられてきたか。
- “ネットワークコミュニケーション”について語るためのボキャブラリー（ものの見方・考え方）を獲得する。

実践的なテクニックとしてのコミュニケーション

研究対象としてのコミュニケーション

- レトリックとスピーチ
- ジャーナリズム
- 説得の「技法」としてのコミュニケーション

- ニュース（いろいろな出来事）を記録し、公開する。
- 3700年前・エジプト
- 1690年（アメリカ・ボストン）：*Publick Occurences Both Foreign and Domestick*
- 1905年 University of Wisconsin
 - 初のジャーナリズムのコースを開講

- レトリックとスピーチ
- ジャーナリズム

ラジオ (1920s)

テレビ (1940s)

マスメディア
マスコミュニケーション

- コミュニケーションの特質
- コミュニケーションの役割
 - 人間にとってコミュニケーションとは
- “複合領域”としてのコミュニケーション研究
 - 人類学、心理学、社会学、言語学など

- 人類学
 - ボディ・ランゲージ（身振り、ジェスチャー）
 - 非言語（non-verbal）コミュニケーション
- 心理学
 - 社会的影響（力）・態度変容
 - コミュニケーションの役割・影響

- 社会学・政治学
 - 投票行動 → 世論調査など
 - マスコミュニケーション研究
- 動物学（zoology）
- 言語学
 - 言語の役割

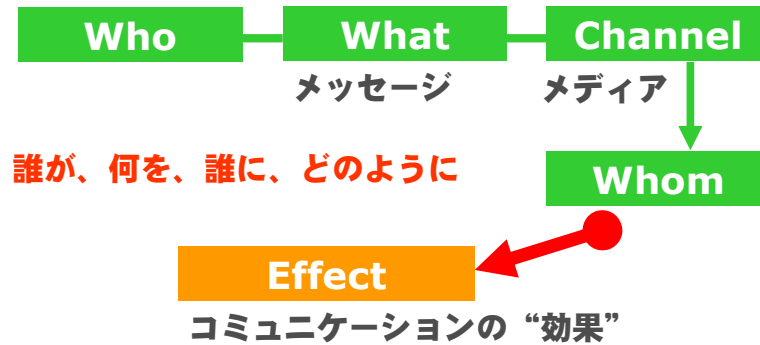
- 統合、融合への動き
 - National Society for the Study of Communication (現 International Communication Association; 国際コミュニケーション学会)
- レトリックとスピーチ
- ジャーナリズムとマスメディア
 - 新聞・雑誌・ラジオ・テレビ

- 人と人とのコミュニケーション
- 情報科学・情報システム論

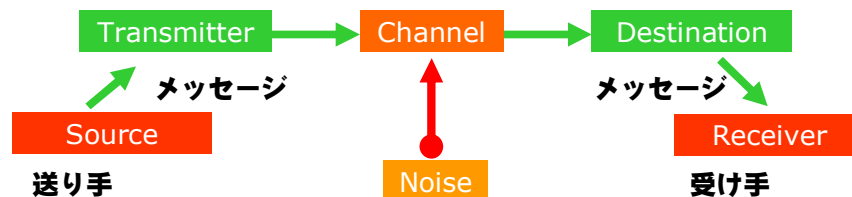
- 研究領域の体系化
 - グループコミュニケーション
 - 政治コミュニケーション
 - 国際コミュニケーション
 - 異文化コミュニケーション
- レトリック・演劇・ディベート・スピーチ・写真・広告・プロモーション
- セラピー
- 開発とコミュニケーション
- 教育と学習

- 情報科学・情報システム論
- ネットワーク
- コンピューターを介したコミュニケーション
- (メディア) リテラシー

■ 政治学的観点（プロパガンダ研究）から
（1948）

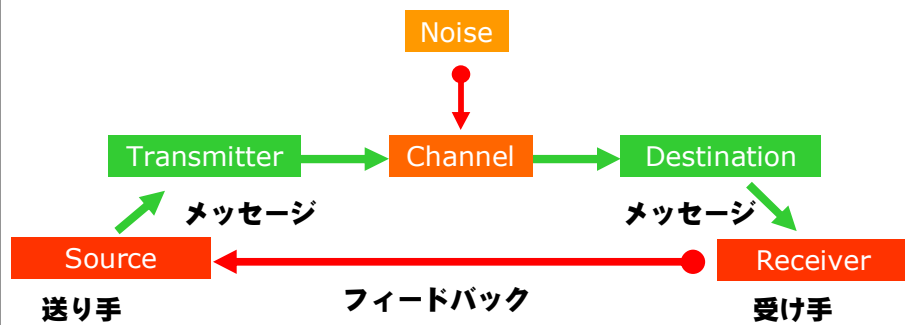


■ 情報理論（1949）
■ 送り手から受け手への、メッセージの「伝達」



The Mathematical Theory of Communication (1949)

- ノイズとチャネル
- フィードバックという概念

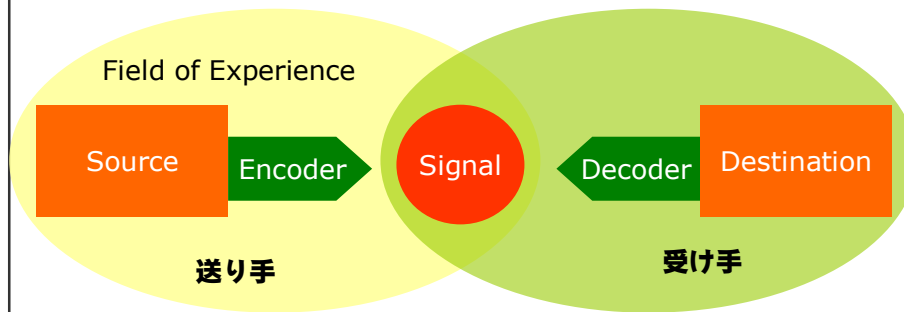


- 送り手と受け手とのあいだの
Commonness
- 意味のある解釈（解読）



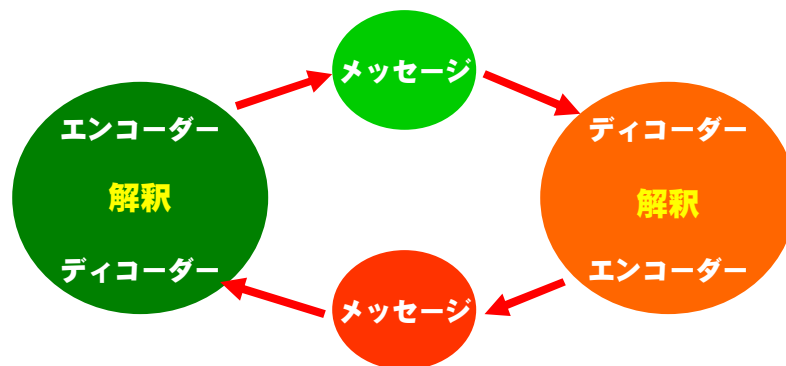
The Process and Effects of Mass Communication (1965)

■ 言語、文化、などを共有しているかどうか

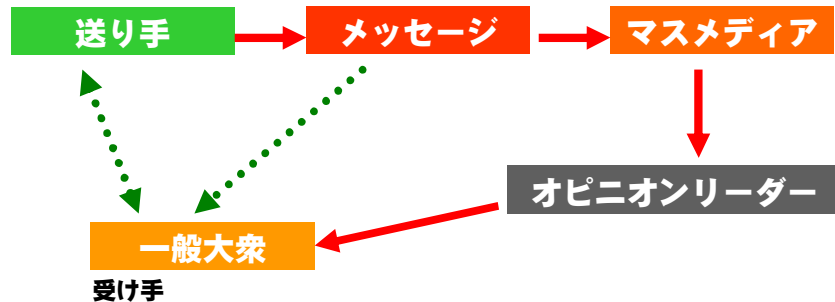


The Process and Effects of Mass Communication (1965)

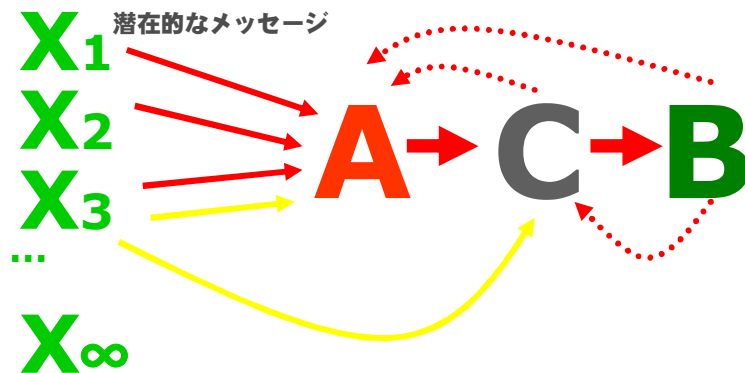
■ 送り手は同時に受け手でもある。



■ 段階的コミュニケーション



■ コミュニケーションは、メッセージを受け取ることから始まる。





•スキル
•態度
•知識
•社会制度
•文化

•要素
•構造
•コンテンツ
•トリートメント

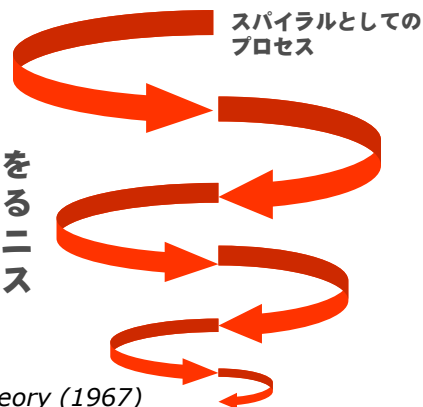
•見る
•聞く
•触る
•嗅ぐ
•味わう

•スキル
•態度
•知識
•社会制度
•文化

- コミュニケーションの「プロセス」としての側面に着目する。
- 情報（メッセージ）の転送・伝達から意味づけ・解釈へ

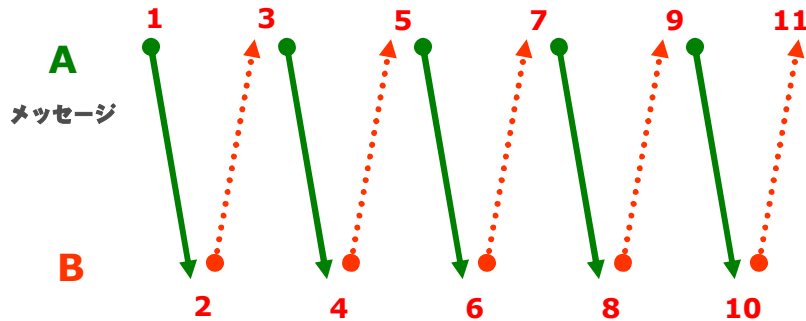
- 時間感覚を明示的にとり入れる。

コミュニケーションを理解しようとしている
そのときも、コミュニケーションのプロセス
は進行している。



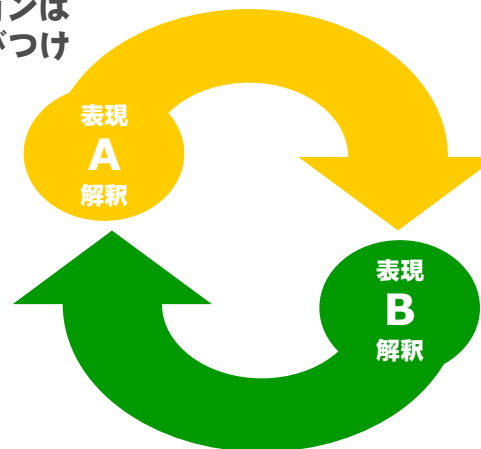
Human Communication Theory (1967)

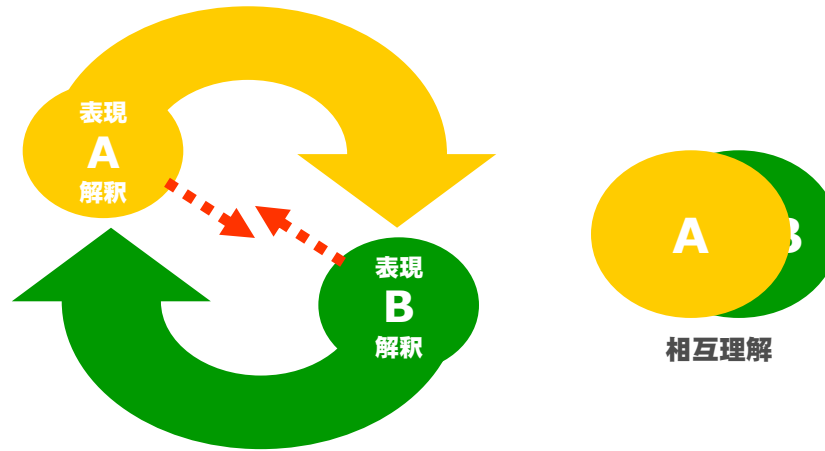
- コミュニケーションをプロセスとしてとらえる。



Pragmatics of Human Communication (1967)

- コミュニケーションはひととひとを結びつける。





- ヘルスコミュニケーション
- リスクコミュニケーション
- ネットワークコミュニケーション
 - メール・セラピー
 - CSCW/CS..

- OB/OGは参加しています。
- システムの開発者も招待するつもりです。
- とりあえず、切ります。
- いろいろ、配ります。
 - マーカーになりそうなもの（第1弾）
 - これまでのネコミを紹介する冊子（余部があまりないので、3種類のいずれか）